



たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2017



尿路結石について

泌尿器科 主任医長 吉岡 まき

【尿路結石とは】 尿路結石は欧米化した食生活、高齢化に伴い、近年増加傾向にあります。とても特殊な結石以外は腹部CTの普及により、簡便に診断することができます。

体の中では尿へ体のいらぬものを出します。いらぬものが多ければ尿中のそれは溜まって結石になりますし、また溶かす水分が少ない状態が続くと、いらぬものの濃度が濃くなり結石になりやすくなります。

【原因・予防】 結石は分析に出すと成分がわかります。それぞれの患者によって結石成分は異なりますが、一番多いのはカルシウム結石です。その次に尿酸結石、感染結石の順になります。カルシウム結石ができやすい人が必ず、カルシウムをたくさん取り過ぎているかというところではありません。取り過ぎはもちろん原因になりますが、不足してもできやすいという報告があります。尿酸結石はご存知の通り、痛風の元になる尿酸値が高い状態が続くことで出来てしまいます。食事療法や薬剤の内服で尿酸値をコントロールすることが大切です。

偏った食生活を見直すこと、そして水分をしっかり摂取することが尿路結石予防の2大柱になります。1日2L以上の水分摂取が結石形成を少なくするとされていますが、心疾患や腎疾患、排尿の問題などで水分制限が必要な場合もありますのでかかりつけの医師にまずはご相談ください。

【治療】 結石が自然に流れ出なければ破碎し摘出する必要があります。一つは体の外から衝撃波で破碎する体外衝撃波結石破碎術（ESWL）、専用の内視鏡を用いて、直接結石を探して割る経尿道的結石破碎術（TUL）です。ESWLは無麻酔、外来診療が可能です。TULは入院、麻酔下での診療となりますが石の治療成績はESWLより優れています。石の大きさや場所、流れ出ない期間などによって治療法が変わりますが、どちらでもいい場合もありますので、患者様に一番適した治療法を提案していきたいと考えています。

部門紹介

泌尿器科

泌尿器科では、尿路結石、排尿障害、頻尿や尿失禁など排尿に関するお困りのことから、腎から尿道、男性生殖器の悪性腫瘍の検診・診療を行なっています。患者様は老若男女を問わず、幅広く診察しております。当科では泌尿器専門医が中心となり外来診療に当たっており週3日外科的手術を行っております。



排尿に関する相談はしにくく、症状が出てから長期間放置していますと、治療が難渋することもあります。男性・女性医師双方おりますので是非、気軽にご相談ください。

ボランティア会「ランパス」の活動について



多摩病院では、ボランティア会「ランパス」によるボランティア活動が行われています。

ロビーコンサート、ミニコンサートは外来、病棟の患者様も楽しみしており、たくさんの方が参加されます。移動図書は病棟の患者様の気分転換にもなるため、図書を借りられる患者様も増えています。病棟の患者様の見守りやベッドサイドでお話するなど活動も多岐にわたっています。



今年度も患者様へのサービス向上に向けてサポートして参ります。

ボランティア・サービス向上委員会

活動内容

- 移動図書
- ロビーコンサート
- ミニコンサート
- うたごえ広場
- 受付（総合案内に立ち患者様対応）
- 掲示写真交換
- おりがみ広場

病棟ボランティア

- 患者様の話し相手
- 患者様の散歩
- お茶のセッティング
- 食事の見守り
- ベッド周囲の整頓